

(別紙)

県央基幹病院の早期建設を求める意見書

県央地域は中小病院に限られているために、住民が急病で救急車を呼べばすぐに患者宅に到着しますが搬送先病院探しに長時間を要しています。

救急医療改善のために県央地域に救命救急センター併設の基幹病院の建設を県に要望してきました。その結果、当時の泉田知事が「救える命は救いたい」と建設が決定され、地元合意を得て令和5年の開院に向けて計画がすすめられてきました。

ところが、今年6月4日の県行財政改革有識者会議で新しい基幹病院をつくることは問題がある、見直せるなら見直すべきと指摘しました。花角知事は、6月5日の定例記者会見で、有識者会議の意見を踏まえて、これまでを尊重すべきか変えてゆくべきかスピード感をもって決めたいと発言したことが報道されました。

県央地域の救急医療の現状は、これまでと同じ状況です。「救える命は救いたい」と県央基幹病院の建設が決まった経緯を尊重して早期建設を強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和元年6月27日

新潟県南蒲原郡田上町議会